

■ 一般目標 (GIO)

歯科衛生士という職業における英語の重要性を理解するために、専門用語を日本語と同時に外国語で学修する。また、英語で簡単なコミュニケーションが図れるようにするために、英会話での表現法を身につける。

■ 到達目標 (SBOs)

- ・ 歯科衛生士という職業における英語の重要性を理解できる。
- ・ 専門用語を日本語と同時に外国語で記述できる。
- ・ 英語での簡単なコミュニケーション法を学修する。

■ 教科書：最新歯科衛生士教本 - 歯科英語（医歯薬出版）

■ 参考書：なし

■ 授業時間：前期 月曜日 13:00～14:50

■ オフィスアワー：各講義担当者 木曜日 12:00～13:00

■ 授業の方法：適宜スライドを使用し、プリントを配布する。

■ 準備学習・ 事前に指定された課題や教科書を読み、授業内容を理解して
準備学習時間：おくこと。

各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

■ 成績評価方法：平常試験（50%）、およびプレゼンテーション（50%）にて評価する。

■ 注意事項 学習成果を得るために、予習あるいは復習が重要である。教材として教科書および授業の際に配布される資料（プリント）を用いること。

■ 実務経験：岡田明子：現在、日本大学歯学部口腔内科学教授であり、本学附属歯科衛生専門学校では校長として従事している。近年の国際化に伴い多くの外国人患者を診る機会が増えており、そうした状況下で、患者との円滑なコミュニケーションを得るために「役立つ歯科英語」「スムーズな会話力」を修得することが必要不可欠である。よって、本教科を通じ、日常臨床に役立つ英会話術を身につけられるよう積極的な学修を期待する。

清水康平：現在、日本大学歯学部保存学第Ⅱ講座で臨床・教育・研究に従事しており、本学附属歯科衛生専門学校では教務主任として従事している。過去には米国留学の経験もあり、臨床においても外国人患者を担当する機会も多い。これらの経験を通じ日常臨床で役立つ英会話学修法を提供する。

高見澤俊樹：現在、日本大学歯学部歯科保存学第Ⅰ講座で臨床・教育・研究に従事している。過去には1年間の米国留学の経験もあり、研究面では多数の英語論文が掲載されている。また、臨床においても外国の患者を担当する機会も多い。これらの経験をもとに

日常臨床で役立つ英会話を提供する。

古地美佳：在職する日本大学歯学部歯学科総合歯科学での臨床経験を基に，歯科医師の立場から歯科における英語がどのように活用できるかについて学修する場を提供する。

江島堅一郎：現在，日本大学歯学部歯科放射線学講座に在籍している。歯科放射線学を中心に診療室で実際に使える英語教育を提供したいと考えている。

木村将典：現在，日本大学歯学部摂食機能療法学講座に在籍している。摂食機能療法学を中心に診療室で実際に使える英語教育を提供したいと考えている。

玉川崇皓：現在，日本大学歯学部口腔外科学講座に在籍している。口腔外科学を中心に診療室で実際に使える英語教育を提供したいと考えている。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2回 4月7日 岡田 明子	Introduction Medical English とは	・ 歯科治療における英会話の重要性について学修する。
第3・4回 4月14日 古地 美佳	補綴治療	・ 歯冠補綴の概要と関連する英会話の用語を学修する。
第5・6回 4月21日 木村 将典	患者との英会話	・ 講義項目の課題について英会話の方法および必要な単語と語句を学修する。
第7・8回 4月28日 江島 堅一郎	エックス線撮影を中心とした診査・診断	・ エックス線撮影や診断を行う上で必要な英会話の用語を学修する。
第9・10回 5月12日 玉川 崇皓	口腔外科の英会話	・ 抜歯をはじめとする口腔外科領域で必要な英会話の方法および必要な単語と語句を学修する。
第11・12回 5月19日 高見澤俊樹	う蝕の英会話	・ う蝕についての英会話に必要な単語と語句を学修する。
第13・14回 5月26日 清水 康平	歯科英語 Medical English 平常試験	・ 歯科で頻用する英語を学ぶ。 ・ 平常試験でこれまで学修した内容を定着させる。